



◎根本 元さん

医師

# 地域医療と在宅医療の

# 現在と未来をインタビュ

巻頭  
特集

2025年に到来する超高齢社会に向けて、ますます関心が高まっている地域医療や在宅医療。医療や介護を支える現場の方の声を紹介します。

取材／渡辺和志 デザイン／星川忠平 撮影／奥山茂俊 文／たなかゆうこ



◎海藤美紀さん

ケアマネジャー



◎徳田喜恵子さん

在宅医療・介護連携室「ポピー」

山形市医師会



◎岡崎千賀子さん

薬剤師



◎手塚敬一郎さん

生活相談員

## 健康と安心な生活を支える 身近な「かかりつけ医」

〈さくら編集室〉 地域医療の核として住民の健康維持・増進や病気の予防・治療、療養などを支える医院や薬局は、私たちの生活に欠かせない存在です。ねもとクリニック院長の根本元さん、山形市薬剤師会会長の岡崎千賀子さんにお話を伺いました。

談できる「かかりつけ医」がいれば、病気になるたとき、適切な医療がスムーズに受けられます。

### 開業医と総合病院 役割を分担し連携して より良い医療を提供

「よく「かかりつけ医」を持つと言われますが、なぜ必要なのでしょう。」

**根本** 日頃の診察や治療、健康管理などを行う身近な医師が「かかりつけ医」です。普段の健康状態や病歴などを把握して、気軽に何でも相

談できる「かかりつけ医」がいれば、病気になるたとき、適切な医療がスムーズに受けられます。

— それはとても心強いですね。  
**根本** 開業して18年になります。長年診察している患者さんは、体調のちよつとした変化や、いつもと様子が違うことにすぐに気がつきます。「かかりつけ医」が、大きな病気の予防や認知症の早期発見につながるケースも多いんですね。

— 総合病院との連携については？  
**根本** 患者さんの病状によって、専門的な検査や治療が必要と判断した場合は、専門医や高度な診療機能を持つ大きな病院を紹介します。その後、病状の経過などを情報交換して、病院での治療が落ち着いて退院したら、また地域の「かかりつけ医」が診察する。開業医と病院がそれぞれ役割分担して、連携をとりながら、患者さんにより良い医療を提供しているんですよ。



「地域医療には開業医と総合病院との連携が大切」と語る根本先生

### 自宅で療養する患者さん 月に1回から2回 定期的に往診し見守り

— 先生は往診もされているのか。

**根本** 急速に高齢化が進んで、自宅で介護を受けながら療養しているお年寄りが増えました。当院の患者さんにもそうした方がいますので、外来診療のほか毎週木曜日の午後を往診にあてて、20人ほど月に1回から2回、定期的に往診しています。

— やはり「かかりつけ医」が在宅医療の中心になりますね。

**根本** ただ、在宅医療は「かかりつけ医」だけではできません。ケアマネジャーや訪問看護師など、介護・福祉分野の人たちとの横のつながりが大切です。これからはますます連携が必要になると思いますね。

### 薬の重複をチェック その人の医療情報わかる 大切な「お薬手帳」

— 地域医療における薬剤師の役割についてお聞かせください。

**岡崎** 薬局の薬剤師は、患者さんがお医者さんからもらった処方箋にあわせて薬を出すのが仕事と思われがちですが、患者さんの服薬状況を管理する役割があります。

— 具体的にどのようなことを？

**岡崎** まず処方箋の内容を確認して、患者さんの「お薬手帳」をもとに、他の医院から同じ薬が重複して処方されているか、また副作用歴やアレルギーの有無などをチェックします。場合によっては、医師に連絡してから薬を出しているんですよ。

— 「お薬手帳」も大切なんですね。

**岡崎** 「お薬手帳」を持っていると、たとえば外出先で倒れた場合、その方の医療情報がわかるので処置が早くなる。お医者さんからも聞きました。いま、山形市薬剤師会オリジナルの「お薬手帳」を制作していますので、ぜひ活用していただきたいですね。

## 医師の処方箋を確認 服薬の管理も薬剤師の役割



山形市薬剤師会 会長 岡崎千賀子(おかざきちがこ)さん  
(山形市 エイブル薬局)

### 在宅での服薬もサポート 気軽に相談できる 「かかりつけ薬局」を

— 在宅医療でのサポートなどは？

**岡崎** 処方箋をもとに調剤した薬を患者さんの自宅に届けて、薬の説明をしたり、残薬をチェックしたりしています。顔なじみのお年寄りが薬局に來られて、少し様子がおかしく認知症では…と、地域包括支援センターに連絡することもありますよ。

日頃から「かかりつけ薬局」を持って、薬剤師に気軽に相談して、安心して過ごしてもらいたいですね。



ねもとクリニック 院長 根本元さん(山形市)  
(山形市医師会 在宅医療・介護連携室「ポピー」室長  
山形在宅ケア研究会 会長)